

## 2.10.3. 教育活動概要

## (a) 卒業論文概要

|       |   |
|-------|---|
| 伊藤 幸太 | <p><b>広告チラシと店内マップおよびレシピを統合活用した買い物支援システムの開発</b></p> <p>近年、サービス業界では、顧客満足度の向上や販売促進などの目的で店舗内システムを導入している。しかし、情報や商品の増加に伴い、必要なものを探すための労力と時間が増加している。これらの問題を解決するために、本研究では注目度の高い広告チラシを用いて、商品の陳列場所やレシピを統合的に検索できる買い物支援システムを提案する。また、生協での評価実験を行い、本システムが組合員と従業員に与える効果を明らかにする。</p>            |
| 小山 潤  | <p><b>某製造企業組織内の工程の相違性と IS 活用の実態に関する研究</b></p> <p>現在、多数の組織で情報システム（以下 IS）が導入されているが、安定に稼働しているシステムであっても、利用者の操作性に対する不満など様々な問題を抱えていることが多々あり、導入後の IS 評価が重要視されている。</p> <p>本研究では、某製造企業の IS に焦点を当て、組織内での工程の相違性と IS 活用の実態を、質的な調査・分析を行うことにより明らかにし、組織における IS 活用に関する問題点を指摘する。</p>           |
| 昆 裕希  | <p><b>パソコンと携帯電話を連動した水稲気象被害軽減システムの開発に関する研究</b></p> <p>米の生産者を情報技術で支援するため、水稲被害対策情報をパソコン(PC)の Web を用いて提供できるようになってきた。しかし、生産者に効果的な情報提供がされないといった問題点があった。そこで、先行研究では、PC 版システムと携帯版システムのプロトタイプシステムが別々に開発された。本研究では、2つのシステムを連動することにより生産者の活動支援を目的とするシステム開発、および評価実験について述べる。</p>              |
| 齊藤 理克 | <p><b>アルバイトの円滑な共同作業のための店舗用情報システムの活用方法</b></p> <p>近年、企業では円滑な共同作業を行うために、仕事に関する情報を共有する取り組みが行われている。しかし、アルバイトに対しては社員とは立場が異なるため、情報共有がうまくできない。例えば、某飲食店では情報共有を目的として、昨年情報システムを導入したが、情報共有ツールとして活用されていない。そこで、本研究ではアルバイトのコミュニケーション不足により起こる問題を分析し、店舗用情報システムの活用方法を提案する。</p>                 |
| 田村 夏海 | <p><b>質的研究方法論を用いた、自治体のシステム導入・更新における組織的および人的活動に関する実践的研究</b></p> <p>地方自治体における情報化政策の多くが定量的に評価されているが、自治体独自の特徴や課題等に対しては、定性的な分析が更なる効果を持つと考えられる。本研究では、岩手県内の2つの自治体における情報部門と担当課に、システム導入・更新の事例に基づいたインタビュー調査を行い、IS 分野における人的な側面に焦点を当てて定性的な分析を行う。また、各自治体の組織的特徴や、組織特性に影響した人の活動について考察する。</p> |
| 藤澤 歩  | <p><b>初等教育を中心としたデジタル教材を用いた授業での先生と児童の関係性の変化に関する考察</b></p> <p>近年の情報技術の発展に伴い、教育の情報化も文部科学省、地方自治体を中心に進められているが、国の調査結果から教育の情報化が進んでいるとは言えない。本研究では、教育の情報化の中でも先生と児童の関係が強い、授業で用いられるデジタル教材に焦点を当て、デジタル教材をよく使用する先生とあまり使用しない先生に質的な調査を行い、デジタル教材の利用、問</p>                                      |

## (b) 博士(前期)論文概要

該当なし

## (c) 博士(後期)論文概要

該当なし

## (d) 講座所属学生が第一著者として査読ありの論文誌掲載論文一覧

なし

## (e) 講座所属学生が各学会で登壇発表した実績一覧

- 1) 耿慧, 田村亘, 渡邊慶和, 南野謙一, “岩手県立大学における中国人留学生生活支援システムの実現に関する研究”, 経営情報学会秋季全国研究発表大会, 2009.
- 2) 齊藤理克, 南野謙一, 渡邊慶和, “アルバイトの円滑な共同作業のための店舗用情報システムの活用方法”, 情報処理学会第72回全国大会, 2010.

## (f) 学生が単独で受けた受賞や表彰一覧

記述例: 岩手太郎, 岩手次郎, 岩手県立学会, 第123回岩手大会論文奨励賞, 自動撮影シミュレーション手法の提案と評価, 2008年8月8日

なし

## 2.10.4. その他の活動

講座冬合宿 (横浜国立大学・関東学院大学との合同開催)

日時: 2010年2月20日(土)~21日(日)

合宿場所: 温泉民宿かわの (安比高原)

参加人数: 約35名

目的:

<グループワーク>

講座制の持つ教学上のメリットを最大限に生かして普段の演習・講義では出来ない学生の自律的な学習を行う。

さらに, 学年を越えた学生同士の知的交流を促進することで, 講座での学生の人格形成・意欲向上への一助となることを願うものである。

<観光マーケティング実地調査>

研究室所属学生が進めているITを用いた観光マーケティングの調査研究について, 安比高原スキー場を対象に実地調査を行う。安比高原スキー場のマーケティング担当者へのインタビュー, 安比高原スキー場への来場者に対するアンケート調査を実施する。